

モノづくりマネジメント技術革新

～コア技術の深化～

—革新的次世代技術と最先端技術の追究—

—参加のお勧め—

リーマンショックをきっかけとした景気低迷、円高、そして新興国の台頭など日本の製造業を取り巻く環境は、厳しさを増しています。こうした中で、日本の製造業が勝ち残っていくためには、競争力を今以上に高めていくことが不可欠です。そのために各社が保有するコア技術の深化は勿論のこと、先人が残してくれた組織力を上げるためのさまざまな知恵を使って、「何を作るか」「どうやって造るか」の部分に磨きを掛けることが重要です。

この度、中国地区品質経営協会では革新的な新世代技術である「SKYACTIV TECHNOLOGY」による車づくりを展開されているマツダ株式会社様と創業以来の Kiru・Kazuru・Migaku 技術を極めることにより世界最先端の半導体装置メーカーとしての地位を築かれている株式会社ディスコ様による両社のモノづくりへの取組みに焦点を当てたシンポジウムを企画しました。

今回の2つの講演から、今後のモノづくりを考える上でのヒントを掴んでいただき、技術革新について成功要因や課題を学んでいただきたいと思います。

講演の後、参加者と講演者との総合質疑応答を行い、より実りあるシンポジウムにしたいと計画しておりますので、多数のご参加をお願い致します。

日 時：平成23年11月4日(金) 13時30分 ～ 17時00分

会 場：広島商工会議所 1階 101会議室
広島市中区基町5-44 TEL (082) 222-6610(代表)

主 催：中国地区品質経営協会

■ プログラム

時 間	内 容
13:30～13:35	開会挨拶 中国地区品質経営協会
13:35～14:40	講 演 「SKYACTIV制御技術」 マツダ株式会社 パワートレインシステム開発部 部 長 木 原 龍 博 氏
14:40～14:55	－ 休憩(15分)－
14:55～16:00	講 演 「高度な Kuru Kezuru Migaku」 株式会社ディスコ 広島総務部 総務グループリーダー 川 崎 光 彦 氏
16:00～16:15	－ 休憩(15分)－
16:15～16:55	総合質疑応答 コーディネーター 広島大学大学院 工学研究科 教 授 高 橋 勝 彦 氏
16:55～17:00	閉会挨拶 中国地区品質経営協会

■ 講演概要

「SKYACTIV制御技術」

マツダにおけるエンジン電子制御の歴史は30年を超え、走行性能や環境性能の向上に貢献してきた。最近の10年は“Zoom－Zoom”戦略でブランド構築を進めてきた。

2007年マツダの基本的取り組みの考え方として、すべてのお客様に『走る歓び』と『優れた環境・安全性能』を提供するサステナブル“Zoom－Zoom”を宣言。

2009年ビルディングブロック戦略を発表。

第一弾としてSKYACTIV－Gを搭載したデミオを導入、今後、続々と新商品を投入予定である。

これら究極の内燃機関を支える制御技術もその構造から一新し、開発プロセスをモデルベース開発に変革することで、エンジンマネージメントシステムの機能、品質、コストを効率良く実現してきた。

このSKYACTIV制御技術や開発プロセスについて紹介する。

□講 師 木 原 龍 博 氏

マツダ株式会社 パワートレインシステム開発部 部長

[略 歴]

- ・1952年 広島県生まれ
- ・1975年 広島大学工学部卒業
- ・1982年 マツダ株式会社入社
- ・2009年 パワートレインシステム開発部長 現在に至る

■ 講演概要

「高度な Kiru Kezuru Migaku」

- ① ディスコの歴史
- ② ディスコバリューズ (DISCO VALUES) (企業理念)
- ③ PIM (Performance Innovation Management) 活動 (進化活動)

当社は昭和12年(1937年)に「株式会社第一製砥所」という切断砥石メーカーとして創業しました。1975年には切断装置を自社開発し、今日では半導体製造装置メーカーとして、高度な Kiru・Kezuru・Migaku 技術の最先端を追求し続けています。

創業から40年経った昭和52年(1977年)には、「株式会社ディスコ」に社名変更し、本格的にグローバル展開を図って参りました。

今回のシンポジウムでは、「ディスコのこれまでの歴史」に加え、「ディスコのものづくりに対する進化活動(PIM活動)」、ディスコがディスコとして目指すべき方向性や経営の基本的なあり方を定めた「ディスコバリューズ(企業理念)」などについてお話させていただきます。

□講師 川崎 光彦 氏

株式会社ディスコ 広島総務部 総務グループリーダー

[略歴]

- ・1954年 広島県生まれ
- ・1972年 広島県立呉工業高校卒業
- ・1979年 株式会社 ディスコ 入社
- ・2009年 広島総務部 広島総務グループリーダー

■ パネル討論

□コーディネーター 高橋 勝彦 氏

広島大学大学院 工学研究科 教授(工学博士)

[略歴]

- ・1988年 早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻 修了
- ・1986年 早稲田大学理工学部助手
- ・1989年 広島県立大学経営学部経営情報学科講師
- ・1993年 広島県立大学経営学部経営情報学科助教授
- ・1994年 広島大学工学部助教授
- ・2001年 広島大学大学院工学研究科助教授
- ・2003年 広島大学大学院工学研究科教授 現在に至る

[現職]

デミング賞委員、日本経営工学会理事・中国四国支部監事、日本生産管理学会理事、日本スケジューリング学会理事、青山学院大学客員研究員他

[専門分野] 経営工学、中でも生産管理

[業種] 製造業

■ 会場案内



JR広島駅から電車またはバス

- ・ バス停: 市民球場前
 - ・ バス停: 広島バスセンター
 - ・ 電停: 広島電鉄 原爆ドーム前
- アストラムライン: 県庁前

広島商工会議所 1階 101 会議室

広島市中区基町5-44

TEL (082) 222-6610 (代表)

■ 参加要領

【定 員】150名

【参 加 費】会員会社 無料 (非会員会社 3,000円/一人)

【申込締切日】平成23年10月15日(土)

【申 込 方 法】申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAXまたはEメールで申込み下さい。

..... キ リ ト リ

シンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」参加申込書

申込先: 中国地区品質経営協会 行

TEL (082) 532-6844

FAX (082) 532-6845

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号 (世良ビル404号)

e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp

URL; http://qmac.jp/

会社名	申込責任者:		
	TEL:		
	e-mail:		
住所(〒)			
参 加 者 名	所 属 ・ 役 職		
参加者 (計 名)	受付確認連絡	必要	・ 不要
参加費 (計 円)	請求書発行	必要	・ 不要

※ご記入頂いた企業・組織および個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。